

ふるさとの誇りを未来へ繋ぐため
地方創生の成果を活かし、共に取り組む

全国町村議会議長会会長 渡部 孝樹

はじめに、本年1月に発生した能登半島地震では、石川県をはじめ広範囲にわたり甚大な被害が生じ、多くの尊い命が失われました。

また、全国各地で地震、大雨、台風などの自然災害が相次ぎ発生し、能登半島地震の被災地も記録的な大雨に見舞われました。

お亡くなりになられた方々に、哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、本日ここに、全国町村長大会がかくも盛大に開催されるにあたり、全国の町村議会議長を代表してお祝いを申し上げます。

町村長の皆様には、日頃から、住民福祉の向上と地域社会の振興発展のため、日夜、献身的なご努力と情熱を傾けておられることに心から敬意を表します。

私ども二元代表制の一翼を担う議会といたしましても、その果たすべき役割と責任が増す中で、より豊かな町村の発展に向け、皆様と力を合わせ行動して参る所存であります。

全国の町村は、食料供給、水源涵養、国土保全など自然豊かな故郷を守り、国民生活を支えてきましたが、時代とともに効率性や利便性が求められるようになり、過疎化・高齢化が都市部より進んでいるのが現状です。

国全体として人口が減少し、東京一極集中が進む中において、地方の人口減少を町村の努力のみで解決することはできません。国全体の問題として取り組むべきものであります。

ふるさとの誇りを未来へつなぐため、これまで取り組んできた地方創生の成果を活かし、各地域が再び人々の活気で賑わうよう、町村長の皆様とともに取り組んで参ります。

これから来年度の予算編成に向け、地方財政対策の議論などが本格化してきます。

我々町村が自主性・自立性を発揮し、行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためにも、地方税・地

方交付税等の一般財源総額の確保・充実は必要不可欠です。

全国町村会と連携を密にし、国に対し強力に要請活動を展開していきたいと存じます。

ふるさとをいつまでも限りなく思い続ける言葉、「愛郷無限」。私が日々心掛けている政治理念です。故郷を想う心なくして国を愛することはできません。また、故郷の発展なくして国を豊かにすることはできません。それぞれの地域を思い活動されている町村長の皆様とともに、活力あふれる「まち」「むら」を創るため、共に頑張っ

て参りましょう。
本日は誠におめでとうございます。